

令和5年度収支決算まとめ

納付金（前期高齢者納付金）が大幅に増加
経常収支で赤字の決算に

令和5年度の事業報告および収支決算報告が、
7月3日に開催された第84回組合会において承認されました。

健保組合の全国組織である健康保険組合連合会（健保連）が発表した「令和6年度健康保険組合予算編成状況―早期集計結果（概要）について―」によると、健保組合全体の約9割が経常収支で赤字、平均保険料率は過去最高となることがわかりました。

全国の健保組合は高齢者の医療を支えるために、多額の納付金を拠出しています。団塊の世代がすべて後期高齢者に移行する2025年問題を直前に控え、今後も社会保障費用が増えていくことが懸念されており、このままでは、支える側である健保組合の財政が立ち行かなくなってしまう。

大切な健康保険組合・社会保障制度を守るために、現役世代の負担を軽減し、能力に応じて全世代が支え合う、全世代型社会保障の構築に向けた改革が急務といえます。

健康保険（一般勘定）

当健保組合の令和5年度決算状況につきましては、経常収支で赤字となりました。

収入面では、健康保険収入は前年度より389万2千円少ない2億2217万3千円でした。平均標

準報酬月額と総標準賞与額が増えた一方で被保険者の減少などにより、結果として減少となりました。また、支出に対して不足する収入額を補うために、積立金を取り崩して4000万円を繰り入れました。支出面については、皆さんの医療費や一時金などに充てられた保険給付費は、前年度より1788万1千円少ない1億2427万3千円でした。

しかし高齢者医療制度を支える財源として負担している納付金は、前期高齢者納付金が大幅に増加したことで、前年度より2697万円多い7884万4千円でした。

保健事業費には1292万9千円を執行して、特定健診・特定保健指導などを実施しました。

以上の結果、令和5年度決算も経常収支で赤字となりました。

健保組合は、被保険者の皆さんと会社が財源を出し合って運営しています。大切な健保組合を維持していくために、健康的な生活習慣を心がけるなど、引き続き皆さんのご協力をお願い申し上げます。

介護保険（介護勘定）

介護勘定の収入支出決算は、収入2755万6千円、支出2543万1千円、差引額は212万5千円でした。

令和5年度
収入支出の決算概要

一般勘定

収入

科 目	決算額
健康保険収入	2億2,217万3千円
調整保険料収入	318万3千円
繰入金	4,000万円
国庫補助金収入	228万円
財政調整事業交付金	207万4千円
雑収入	468万6千円
合 計	2億7,439万6千円
経常収入合計	2億2,688万3千円

支出

科 目	決算額
事務費	3,469万5千円
保険給付費	1億2,427万3千円
法定給付費	1億2,416万7千円
付加給付費	10万6千円
納付金	7,884万4千円
前期高齢者納付金	2,357万円
後期高齢者支援金	5,527万4千円
退職者給付拠出金	0円
保健事業費	1,292万9千円
還付金	17万円
財政調整事業拠出金	318万1千円
連合会費	38万8千円
積立金	102万円
雑支出	8万円
合 計	2億5,558万円
経常支出合計	2億5,239万9千円

収支差引額	1,881万6千円
経常収支差引額	△2,551万6千円

介護勘定

収入

科 目	決算額
介護保険収入	2,753万8千円
雑収入	1万8千円
収入合計	2,755万6千円

支出

科 目	決算額
介護納付金	2,539万5千円
介護保険料還付金	3万6千円
支出合計	2,543万1千円

令和5年度決算 収支の割合

※端数処理の影響で合計は100%になりません。

